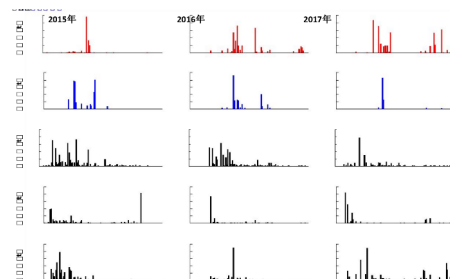
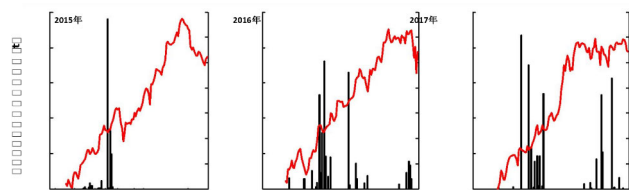


**クロマグロの資源回復と定置網の操業継続を同時に実現！
～定置網からクロマグロ小型魚を逃がす技術を開発～**

【ポイント1】クロマグロ小型魚の『漁獲実態』を解明

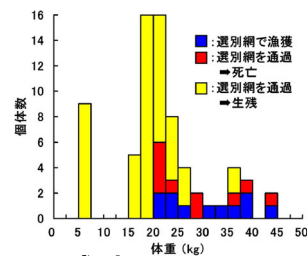
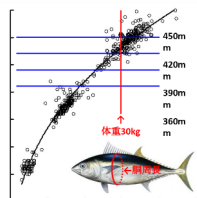


漁獲は北日本に集中

青森県深浦町における漁期は5～8月

ブリと漁期が重複

【ポイント2】クロマグロ小型魚と大型魚を選別する『サイズ選別技術』を開発

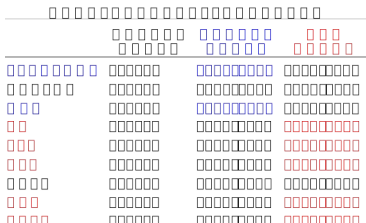
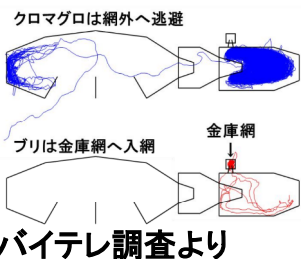


選別網の目合を決定

深浦町の大型定置網で実証試験

サイズ選別に成功

【ポイント3】クロマグロ小型魚と他魚種を選別する『魚種選別技術』を開発

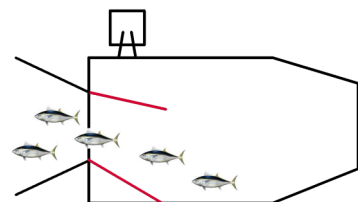
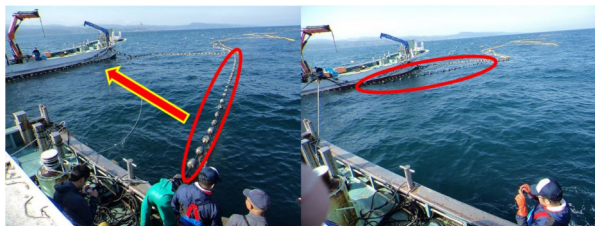
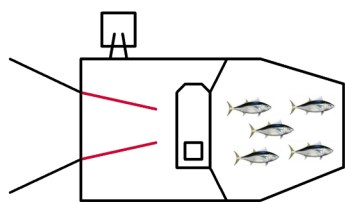


バイテレ調査より

金庫網付き大型円形生簀で実証試験

魚種選別に成功

【ポイント4】クロマグロ小型魚の網外逃避を促す『逃避促進技術』を開発

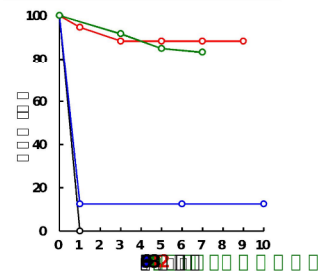


揚網中にクロマグロを発見

揚網中止・昇網開放

自発的な逃避を促進

【ポイント5】クロマグロ小型魚を網外へ放流する『緊急放流技術』を開発



ERウィンドー※開放

※Emergency Release Window

大型魚は漁獲、小型魚は放流

生残率は8割以上！

本研究は平成26年度農林水産業の革新的技術緊急展開事業、平成28～29年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業、平成30年度イノベーション創出強化研究推進事業を活用して実施した。